

奈良女子大学 記念館一般公開

重要文化財 旧奈良女子高等師範学校本館



特別展示

日曜画家ギャラリー ～記念館とその周辺～

奈良女子大学記念館は、平成6年12月27日に国の重要文化財（建造物）に指定されたことを受け、平成9年から春と秋の年2回、広く一般に公開し、開かれた大学として地域との連携を深めています。また、明治の洋風建築の趣を残している記念館の美しさに惹かれて、多くの方々が建物の前にキャンパスを立て絵筆を走らせておられます。

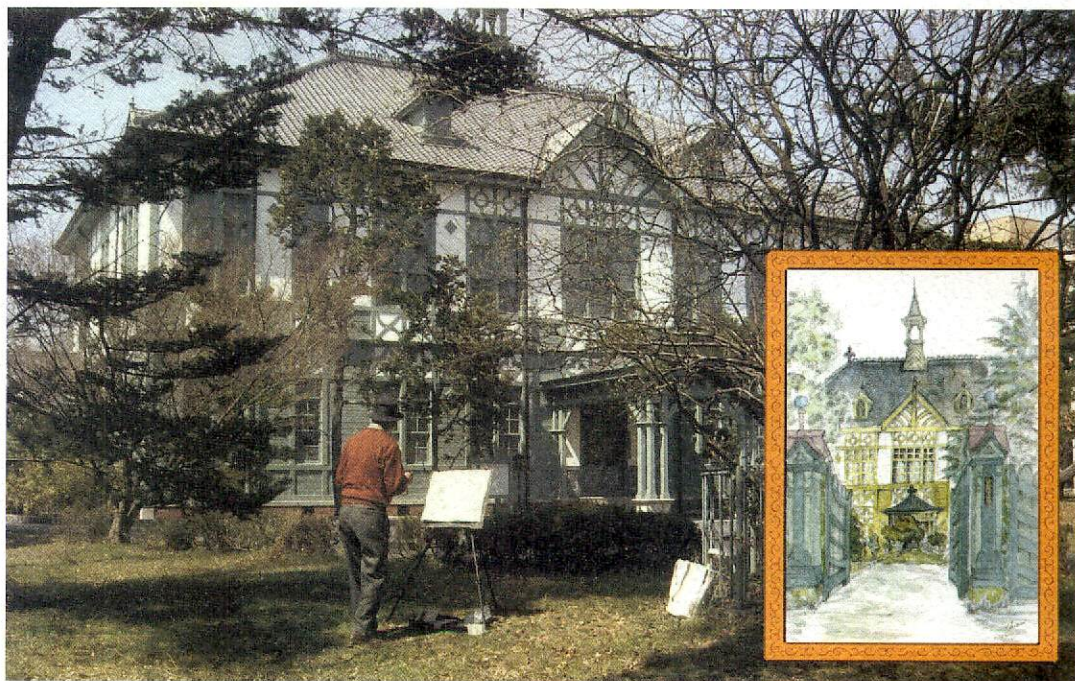
そこで、このような市民の絵画愛好家の方々が描かれた、奈良女子大学記念館及び大学界限などの絵画を持ち寄って頂き、記念館で展示会を開催することを企画いたしました。奈良市生涯学習センターに所属されている絵画愛好家のグループに呼びかけましたところ、多数の作品を出展していただけることになりました。作品のほとんどは、一般市民の方々によるものです。

なお、本記念館は、昨年11月に奈良市から「奈良まちかど博物館」の指定を受けました。他に指定を受けた9カ所の「奈良まちかど博物館」とも一層の交流を深め、地域文化の発展に寄与していくことで、市民に親しまれる「奈良女子大学記念館」でありたいと願っています。

奈良女子高等師範学校（現奈良女子大学）は、奈良市の市街地にあり、明治41年3月に設置され、42年5月から授業を開始した。校舎の工事は、41年2月の本館の着工にはじまり、42年10月には主要な建物が完成した。現在残る旧本館（現奈良女子大学記念館）及び守衛室はこの時の建物で、本館は42年10月、守衛室は同年12月の竣工である。工事は文部省建築課が行い、京都帝国大学建築部長で奈良出張所長心得の山本治兵衛が実務の中心的役割をはたした。

旧本館はキャンパス中央南寄りにあって東面して建ち、旧本館の真向かいに正門、正面の北西に守衛室が建つ。

旧本館は木造二階建てで、外壁の一部をハーフティンバー形式とする。正面中央に玄関が取り付け、南側に便所が附属している。屋根は葺瓦葺で中央に塔屋が付き、正背面に各二箇所、両側面に各一個所のドーマー窓を設ける。一階は中央南北に廊下が通り両側を校長室・応接室等の部屋とし、二階は全体を講堂とする。講堂の天井は、中央部を二重に折上げ、小壁に化粧の窓を設ける。



出展グループ：あじさいの会、イレブンアートクラブ、彩友会、たくま水彩倶楽部、パレットクラブ、ポエム会、萌（五十音順）、その他一般市民や大学関係者の方々など

日時

平成16年4月29日（木）～5月5日（水）
午前9時～午後4時 入場無料

連絡先

奈良女子大学総務・企画課

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 TEL.0742-20-3204 FAX.0742-20-3205

記念館HP <http://koto.nara-wu.ac.jp/kinenkan/>



本パンフレットは環境保護を目的とし再生紙を使用するとともに大豆油インクを使って印刷しております。